

健康と光線

ガン

どのようなにしてガンにかかるのかについては、状況証拠の積み重ねに加えて、発ガンの過程にかんする研究も進歩し、逐次解明されつつあります。特にガンの予防と、早期ガン対策ではある程度の成果をあげています。まず予防面を見ますと、発ガン作用を持つ物質や、抗ガン作用を持つものが分ってきたため、ガンにならないような食事をすると「ガンの一次予防」が重視されるようになりました。ただ、どこまでガンを減らせるかは今後の問題です。

治療面は、早期ガンと進行ガンに分けて考える必要があります。ガンは通例一期(子宮癌ではゼロ期)から四期に分けますが、一期は大きさは指の先までぐらいで転移のない時期です。二期は大きさは指の先以上でも、見た眼には明らかな転移のない時期です。三期で転移があちこちに出るようになり、四期は末期ガンです。このうち、一期の時点で発見されたのが早期ガンで、二期が早期ガンと進行

ガンの分れ目になります。

この早期ガンのうちに発見して、手術や放射線で治療する「ガンの二次予防」は、ガンに対する関心の高まりもあって成りの成果をあげています。しかし、三期から四期のガンでは、懸命の努力

が続けられていくにもかかわらず、未だ治療手段の確立には程遠く、それ故に、ガンは宿敵として人類の前に立ち塞がっているのです。

一次予防

とサナモア

先般、厚生省は毎日三〇種類の食品を摂るように勧告しました。これは食品の中に発ガン性物質や抗ガン性物質があるために偏食しないことがガン一次予防になるからに外なりません。このように現代の予防対策は、発ガンに結びつくことを避けることが中心です。しかし、ガンを防ぐには、人

ガンの予防と治療

—サナモアを併用する利点—

サナモア光線協会
サナモア中央診療所

医学博士 宇都宮 光明

日、二三一号「光線浴にがん予防効果」
「健康と光線」昭和60年7月1日、二三八号「免疫に及ぼすサナモアの作用」を参考にして下さい。

二次予防とサナモア

音もなく忍び寄るガンを早期に発見することは、定期健康診断を受ける努力も然ることながら運も必要です。ただ、早期ガ

発行所

〒153
東京都目黒区目黒 4-6-18

サナモア光線協会

年4回発行
会費 年500円
電話 東京(03)
793-5281
712-5322

ンに限って言えば、手術療法や放射線療法の効果は確かです。で、必ず病院の指示通り治療することが必要です。サナモアは術前術後の健康管理に使って下さい。

進行ガンとサナモア

手術再発例を含めて、進行ガンは全ガン患者の9割以上を占めますが、広範囲に転移しているために的確な治療法に欠けますし、「治る」「治らない」で律するには難し過ぎます。この進行ガンの治療については、基本的に相反する二つの考え方があります。

一つは、強力な化学療法(抗ガン剤)に手術や放射線を併用する治療法です。この治療は必ず副作用が出ますが、中でも生体のガン細胞に対する抵抗力(免疫能)を弱める作用があり、現在の抗ガン剤の効果は満足できるものではありません。もう一つは、ガンの宿主、即ち患者の抵抗力を高めて、ガンを宿せない身体にしようとする考え方です。これには免疫療法があります。無論、サナモアも主として患者側に作用します。また、食事療法やビタミンC大量療法など巷間行なわれている

治療法も考え方は同じです。なお、進行ガンの場合、殆どの方が他の治療にサナモアを併用していますが、この際の利点は多々あります。

まず、一般状態に対する効果です。サナモアを使い始めると、食欲が増し、血色もよくなり、活力が出ます。また、鎮痛効果を始めとする対症の効果は、患者の苦痛を和らげます。

免疫能の強化は、ガン組織の発育を抑制し、あわよくば破壊するかも知れませんが、熱療法としての効果も期待できます。また、毒素も熱に弱いことから、ガン毒素の無毒化も考えられます。

おわりに

子宮癌開病日記を書かれた坂本さんは、当初二つの病院で、三期から四期の子宮ガンと診断されました。しかし、苦痛にめげることなく敢然とガンに闘いを挑み克服しました。人間の尊厳を保つ勇氣には感服しました。

進行ガンでサナモアを使っている方は、他にも多数あります。その中には、坂本さんのように経過のよい方もありますが、反面、鬼籍に入った方もあります。本紙の読者の中には、医師も少なからずおられます。もし、困っている症例があったら、サナモアを使ってみて下さい。その際には、坂本さんのように一生懸命かけて下さい。

「秋祭り」

宇都宮義真撮影



讃光譜



肝臓時代

最近、肝臓が悪いという人が増加した。世は正に肝臓時代である。而も、肝臓の病気に對しては對症療法の外に確実な治療法がなく、不治の病の如く思われているのである。

肝臓は、内臓中で最大の容積を占め、生理作用は極めて複雑であるが、主として物質の代謝（同化作用と異化作用）と、栄養素の貯蔵と、解毒作用と、胆汁の生成をいとなむ場所である。肝臓は元来非常に強い臓器で減多に病気をしないが、一度病気になる慢性化させると大変である。肝臓が如何に肝腎であるかを肝に銘じなければならぬ。

肝臓は疲れている

肝臓は絶えず働いている。食物に混じった有害物質やアルコールを解毒するのは肝臓である。病気を治す薬のなかにも有害となるものがある。これを解毒するのも肝臓である。殊に、近年のように薬や注射を乱用されては、肝臓はその解毒のために過労に陥らざるを得ないのである。従ってこの病気には、むやみに薬物を投与することは、益々肝

臓の過労を増すことになるのである。

急性肝炎

近年、伝染性肝炎（流行性肝炎）が各地に爆発的に発生しているのであるが原因は不明である。（注）

感染は主として経口的（口か

肝臓の病気

宇都宮 義真

ら）で、連鎖伝播として近隣に流行したり、共通経路感染として、水、食物、牛乳から感染したりするのである。

また、輸血した患者に見られる血清肝炎（輸血後肝炎）や、（薬物）が原因で起こる中毒性肝炎や、アルコールが原因のアルコール性肝炎も増加している。急性肝炎の予後は一般に良好

であるが、悪性のものは急激に肝細胞壊死を起こし、一、二カ月の経過で肝性昏睡で死亡することもある。また、これほど重症でなくとも、十分に養生せず、毒物やアルコールの乱用を続けていると慢性肝炎に移行し、長期の忍耐と苦痛とが要求されるのである。従って、急性期に完全に治すことが肝腎である。

肝臓が悪いと

急性肝炎の症状は、軽度の発熱があり、食欲が衰えて、全身の倦怠、頭痛、吐きけ、寒け等があり、黄疸が出たり（著名でないこともある）尿が黄褐色を呈したり、時として腹痛を訴えることもある。また、肝臓が腫れて、右肋骨弓下の肝臓部を押すと痛むことがある。

肝臓の炎症性疾患の圧痛点（押すと痛みを感じる所）は大体次の通りである。

- ▽マッケンジー氏点（第八十一胸椎）
- ▽小野寺氏点（第八十胸椎の右側）
- ▽エワルド氏点（第十一十二胸椎の右側）
- ▽小野寺氏点（第六肋間腔下）
- ▽ジョーファ氏点（右肋骨弓）
- ▽ジョン氏点（右第九肋軟骨）

▽ロブソン氏点（右第九肋軟骨下）

光線療法の応用

薬物療法で治療の困難な肝臓疾患に對して、サナモア光線療法が奏効するのは何故であろうか。

この理由は、赤外線（熱線）と紫外線（化学線）と可視線（色線）の総合光線が、直達的作用はいは間接的に肝臓に作用して、肝臓の炎症や硬変を去り、機能

を旺盛にするからである。殊に、肝臓は血管の固まりのようなもので、光線に對する感受性は極めて大きいのである。

また、肝臓疾患には抵抗力の減退も悪化原因となっていることから、サナモア光線による抵抗力の強化も大なる関係があるのである。とにかく、急性の場合でも慢性の場合でも、サナモア照射によりて肝臓の異常は比較的簡単に解消することはよく経験するところである。

（注）急性肝炎の原因になるウイルスは、昭和30年代になって発見された。

「健康と光線」昭和29年7月5日発行—流行性肝炎—

「光と熱」昭和13年10月1日発行—人体で何が一番肝腎か—より要約した。

苦しい、長い一年と三カ月がたちました。

痛みだすと文字通り七転八倒の苦しみで、飛んだりはおねたり、ひっくりかえるほどの苦しみから、ようやく元気になってまいりました。この間、上野

先生に治療していただきながら、いろいろな励み、また人生勉強をも御指導いただき、心づよい毎日でございました。

まっ黒な世界から、今はバラのような世界になっていくようで、楽しい毎日を過しております。

今、私は新しい人生を作り出して、今まで出来なかった書道、洋裁、第二の人生の出発のアドバイザー、また結婚のお世話と、多忙な毎日を送らせていただいております。

サナモア光線のすばらしい威力のおかげ様で、私は命拾いをさせていた

できました。この大切な命を、これから先、意義ある生き方をしようとはりきっております。

“不治の病”と怖れているガンを闘う、この気持はどのように表現してよいかわかりません。

自分は絶対に治るんだという信念をもって、ガンと立ち向う強い精神が大切なようです。いろいろと皆々様の御注目を頭の中に入れ、感謝しながら暮らしております。

追伸

今朝（8月26日）ごみの当番の時、ガラスで右手中指を切り大出血、まわりの人が救急車をと大あわて、私は家へかけ込みB・Bでサナモア光線を30分ほ

絶望の淵から生還

子宮癌闘病日記のその後

神戸 坂本 恵美子



前列右から坂本さん、上野先生、宇都宮先生

後列上野健太郎先生、昭和60年8月31日撮影

坂本さんにお会いして

宇都宮 光明

上野先生から坂本さんが完全に良くなれたとのご連絡を戴いたのは、まだ残暑の厳しい8月下旬でした。

坂本さんとは、本紙に前後3回に渡り、『子宮癌闘病日記』を寄稿して下さったE・Sさんです。貴重な体験を赤裸に綴った文章は、本紙を手にした多くの人の関心を生んでいましたし、私も経過報告を心待ちにしておりました。

私はこれまで坂本さんにお会いしたことがありませんでしたので、一度お会いしたいと思ひ神戸へ向いました。8月31日のことです。

列車が神戸に着き、上野先生宅に何うと、坂本さんは上野先生とご一緒に待っていて下さいました。

坂本さんは色艶もよく大変にお元気で、とても大病を患った人とは思えません。物静かな落ち着いた方で、さぞかしつらかったであろう闘病生活について、何時も笑みを浮かべながらお話しになります。ご家族は学校の先生をしてらっしゃるご主人と、男の子が三人で、上の二人は京大に進学し、末っ子は高校生で

す。今回闘病記を書き始めたのは、子供達に残したいと思つておっしゃってました。そう言えば、坂本さんも以前は先生をされていた由、達筆の理由が納得できました。

坂本さんのお話しでは、同じ子宮癌の何人かの患者にサナモアをすすめたのに、皆んな信じないで手術を受け亡くなられたそうです。これも寿命ならそれも寿命と言うのかも知れません。

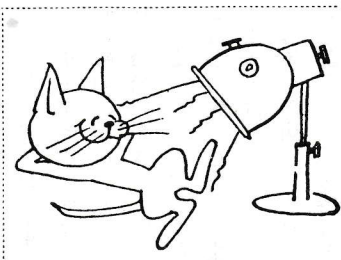
坂本さんご一家は人望があり、仲人依頼の写真が山積みになってるそうです。でも、他人の世話だけでなく、ご子息によいお嫁さんを貰つて、孫と言わず曾孫ができるまで元気で皆で笑つて話しました。積善の家に余慶ありの例えもあります。これからもお元気でとお話ししてお別れました。

帰りの列車の中で、まだまだ研究しなければとの思いと共に、本当によかった、本当によかったと心から喜びを感じてました。

これまでではE・Sさんとイニシャルを使っておりましたが、ご本人の了解を得てお名前を書かせて戴きました。なお、坂本さんへのお問合せは、上野先生がお取り下さいます。

（応用光線療法は休載します）

六十年盛夏



— 治験例報告 —

☆貧血症(虚弱体質)

症例 12才(中一) 男子

症状 日頃、病弱なため学校を休みがちで、直ぐ疲れてしまうので困っていた時に、知り合いからサナモアのことを聞き相談に來られた。

その際に、「サナモア光線療法は病気の治療だけでなく、弱くて病気になるやすい人が、健康になりたくて使うこともよくありますよ。だから、お子さんには一番適した方法だし、きつと効き目がありますよ。家でも出来るし、かけ方は教えてあげますから」と話したら、余程悩んでいたのか、早速サナモアを購入し、指示通り自宅治療を始めた。

療法経過 Aカーボンにて腹、膝、足裏、腰、背に各五分、一日一回照射を続けたところ、血

色がよくなり疲れなくなる。また、学校を休まなくなった。

先日も学校体育で、五〇〇メートル競走に出場して完走し、翌日はちゃんと登校したと家中で喜んでいました。

神戸市 ウエノ光線療法

上野 貞氏報告

TEL 〇七八三三二一三五八

☆水痘(みずぼうそう)

流行性耳下腺炎

(おたふくかぜ)

症例 5才 女児

症状 幼稚園で感染したのか、夏休みになった途端に摂氏三十八度、九度まで熱発した。喉(のど)も少し腫れ、鼻汁も出していた。

療法経過 この子はサナモア

子で、光線が一番好きなので、BCカーボンにて足裏二十分、三十分、足首、膝前後、腰、背、後頭部、腹、のどなどに、集光器を使いながら熱が下がるまで照射した。

ただ、解熱すると外で遊び廻るので、夜になると熱が出て、その度に光線照射をしていたら、四、五日後から鼻の入口や顔面に四、五カ所発疹が出て中にウミを持ち、「みずぼうそう」と分った。また、身体にも発疹が数カ所出た。しかし、発疹のひどい所も一週間目位からかれ始め、二週間目には全快した。ところがその後、再び九度近くの熱を出し、耳下腺(耳の下にある唾液腺)が腫れて痛い痛いと言いだした。「おたふく

☆腰痛症

症例 69才 女性

症状 椅子から立ち上がろうとした時、突然腰に激痛を感じ、腰痛のため歩くのが困難になる。

療法経過 直ぐにBCカーボンで腰に後ろおよび左右から楽になるまで照射した。また他に、足裏、足首、膝前後、股関節、そけい部、腹、背、肩甲部、後頭部と、一日に四時間位の間を、おいて三回に分けて照射したところ、三日目には外出できるまで改善した。

☆急性胃炎(胃痙攣)

症例 56才 女性

症状 上腹部(胃のところ)に差し込むような痛みがあり、知人に連れられてとるものもとらずに来院した。

顔色は青ざめて血色は悪く、冷汗を流し、手足は冷たく、上腹部の激しい痛みで苦しんでいた。

療法経過 とりえず上腹部の痛みを和らげるため治療を開始した。Aカーボンを使い一号集光器で光線を集光して、上腹部(胃部)に三十分照射したところ痛みは軽くなった。次いで、上腹部の後方に開放で五分、足裏に十五分、膝に五分、合計五十五分照射したが、完全に痛みはなくなり、人ごこちがついたと安心した。

この症例は、その後二カ月になるが、このような発作は全くない。

川崎市 東京光線治療院

海渡 一二三氏報告

TEL 〇四四七二二五〇六七

愛用者だより

☆私の体験から

岩見沢市 莊司トミ

最近体験した症例の中から二つのケースを報告します。

◇ 50才の男性で、陰茎、睪丸部にひどいカユミがあり、夜も眠れず病院三カ所に通って見たものの結果はかんばしくないといと来所されました。

農作業で発汗したあとカユミが増したとのことで、患部は真白に変色していました。早速、患部に30分、腹、腰に15分照射、その夜はぐっすり眠ることが出来たとのこと。二回の照射でカユミが全くなり七回目位からは患部が淡褐色になって来しました。全15回で治療終了、元気に農作業に精を出しておられます。

◇ 51才の男性。カゼをひき、長い間病院通いをしてているが、鼻がグズグズと治らず、胸が

苦しくて困っていると来所されました。

鼻に15分、背、腹に各10分照射したところ、鼻のグズグズがなくなり、呼吸もかなり安定して来しました。

二回の照射で症状は全くなり、大変喜んでおられました。

これからの季節は、ちょっとした不注意でカゼをひきますが、サナモアは大変効果的です。

ぜひ、お試し下さい。

その後十数日になるが異常ない。(私のこと)とんだ騒動でした。

春日市 前田光線治療所

前田 ミサ氏報告

TEL 〇九二五八一二〇三九

はじめに

急性肝炎は、古くて新しい病気です。今から二十有余年前に肝炎ウイルスが発見されてから、急性肝炎に対する考え方は大きく変化しました。そのため、曾て宇都宮義真が本紙に掲載した「肝臓の病気」(2面 光譜に転載)を見ても、部分的には現在の学説と合わない点があります。

急性肝炎の分類

以前、急性肝炎は流行性肝炎(伝染性肝炎)と血清肝炎(輸血後肝炎)とに分け、前者は主に糞便で汚染された食物を介して経口的に伝染するため地域的に大流行がありますが、経過は比較的良好的のに対し、後者は血液を介して感染しますので散発的で流行はありませんが、経過が遅延して慢性化する傾向も強いと漠然と考えてました。その頃も、急性肝炎の原因はウイルスと考えられてましたが、ウイルスは確定するには至らなかったのです。

ところで、急性肝炎にかんする研究の進歩の跡を辿りながら、今の分類について述べ、次いで、中でもB型肝炎が国民病と云われる理由を記述します。その上で、決定的な治療法のない急性肝炎の治療に果すサナモア光線療法の合理性について、具体的に考察します。加えて、近時、B型肝炎撲滅の根本対策として期待されている母子感染予防について概説します。

サナモアによる肝疾患の治療

特にB型肝炎について

サナモア中央診療所

医学博士 宇都宮 光明

B型肝炎の特徴

しかし、診断名として流行性肝炎や血清肝炎と言う言葉も使われていますので病名は錯綜しています。また、中毒性肝炎やアルコール性肝炎の如く、肝炎ウイルスと関係のない肝炎もあります。

急性ウイルス肝炎の正体が究明されるにつれて、A型肝炎とB型肝炎の間に際立った違いがあり、B型肝炎が極めて特異な病気であることが明白になってきました。

B型肝炎で最も目立つ点は、B型肝炎ウイルスが持続感染することです。この持続感染者をキャリアと言います。一般的に、ウイルス感染は一過性で、持続的に身体の中にウイルスを持つことはありません。A型肝炎もウイルス感染症ですが一過性感染で、持続感染はありません。

次に、キャリアの中の問題点として、肝臓の機能検査に全く異常のない、無症候性キャリア

と呼ばれる人のあることが判明しました。この人達は、検査を受けない限り、自分がキャリアであることに気がきません。しかも、感染源になるだけでなく、自身の人生において、B型肝炎―慢性肝炎―肝硬変―肝癌になる危険が高いことが、疫学的研究から裏付けられています。

そして、現在、新しくキャリアになるのは、殆んど乳幼児期に感染することが明らかにされています。即ち、乳幼児はB型肝炎ウイルス(抗原)に対して抗体を作る能力がないので肝炎にはならないのですが、キャリアになってしまふのです。このキャリアの30%は、キャリアの母親からの感染で、70%は接触した人からの感染で起こると考えられています。このキャリアは、わが国では2/3を占めていて、欧米諸国の0.2%以下と比べると10倍以上になります。アジア・アフリカ諸国では5/15%と非常に高率です。

肝疾患の治療

(五面よりつづく)

これまで述べた如く、肝疾患の病態にかなう研究が進捗したにもかかわらず、今もって特效薬はありません。それ故、一旦発病したら、臥床安静、高タンパク食等、従前からある治療法に頼らざるを得ないのが現状です。従って、肝疾患の治療法の基本は、急性肝炎も慢性肝炎も肝硬変も似ています。

まず、臥床安静ですが、床について寝ることが必要な理由は、肝臓を流れる血液量が体位によって大きく左右されるためです。即ち、肝臓を流れる血液量は、横臥位から座るだけで30%以上減少し、更に運動時には50〜80%減少します。

次に大切なのが栄養です。肝臓病食は一般的には、高タンパク、高カロリー、高ビタミン、低脂肪と言われます。このうちタンパクは、破壊された肝細胞を修復するために多量に消費するアミノ酸の原材料となるだけでなく、脂肪肝も防ぎます。

ところで、肝疾患のサナモア光線療法は、右上腹部(肝臓部)は前後あるいは側方から照射、他に膝、足裏などを照射します。(カーボンはA DかB Dを使用

し、一カ所10分程度を目安にして下さい。)これによって、腹腔内および肝血流量は一段と増加します。また、食欲が増し消化吸収がよくくなります。その結果肝臓の自力再生を促し、治癒機転を促進します。

ただ、臥床安静と食事療法は言わば守りの治療です。急性肝炎のようなウイルス性疾患の治療の根幹は、ウイルスに打ち勝つ抵抗力を獲得し、ウイルスに直接作用して活動性を抑え、出来ることなら消滅させる攻めの治療が望ましいことは言うまでもありません。この効果をサナモアで期待できます。

現在、B型肝炎はB型ウィルス抗原を指標にして、肝炎の活動性を判断できることが明らかにされています。この指標を使って、サナモア中央診療所で経過観察中の慢性B型肝炎患者で追跡調査したところ、抗原が陰性化した症例を経験しました。この所見は、サナモアが患者の免疫能を高めたためとも考えられ、原因療法として使用し得ることを示唆しています。ただし、B型ウィルス抗原の陰性化は自然経過でもみられますので、なお症例を積み重ねて研究する必要があります。

B型肝炎のみならず、肝疾患

の治療には未だ決め手はありません。その中において、サナモアは、免疫系を介して生体の低抗力を高めるとともに、保存療法の間では肝血流量を増やすことによって、肝疾患治療に有用な手段として使用し得るのです。

B型肝炎の

母子感染予防

B型肝炎が肝臓病の中でも特異な病像を持ち、治療の難しいキャリアアを作るため、この予防対策の確立が待望されています。

近年、B型肝炎に感染した直後で、極く少量のウィルスが身体の中にある場合に限って高力価の抗体を含有する免疫グロブリンと肝炎ワクチンを併用して予防措置を講じ得ることが明らかにされ、乳幼児の母子感染を予防する具体的な体制作りが始められています。今の日本には、B型肝炎のキャリアは二百万から三百万人います。いたいたけな幼児が、無症候性キャリアにならないためにも、実用化への努力は続けられています。キャリアは、慢性肝炎になる率が10倍以上で、肝臓の50%以上を占めているのです。

サナモア



サナモア光線協会

趣意書

天地創造の昔から、真の光、即ち太陽光線は、私たちに限らない恩恵を与えています。サナモア光線療法は、この太陽光線の健康増進、疾病予防および治療効果を利用した治療法です。従って、目に見える可視光線だけでなく、目には見えないが無くてはならない紫外線や赤外線を目的に際して適切に放射しなければなりません。

このサナモア愛用者を以て、光線療法の研究を行うと共に、啓蒙普及活動を行うためサナモア光線協会を設立しました。サナモア光線協会は、設立の趣旨に賛同戴いた会員にて構成し、季刊紙「健康と光線」を発行します。

サナモア光線協会

医学博士 宇都宮 光明

協会では、会員を募集しております。入会希望者は、左記宛御申込み下さい。

〒153 東京都目黒区目黒4-6-18

サナモア光線協会 TEL (03) 七九三-五二八一 (七二二-五三三三)

(本紙の無断転用を禁止します。)